

2016年4月以降に当院消化器内科において Gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach (GAPPS)と診断され 検査や治療を受けた方へ

研究 Gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach (GAPPS)に対する実態調査の実施について

1. 本研究の目的および方法

研究の概要: GAPPS アンケート調査票を用いて全国の医療機関にアンケート調査を行い、疫学的視点を含め本邦における本疾患の実態調査を行います。

対象者: GAPPS と診断された、あるいはその疑いがある方およびその血縁者の方を対象とし、カルテ情報を用いて後方視的に解析します。研究全体の実施期間は倫理委員会での承認を受けて施設長の許可を得てから2027年3月までです。当院における予定症例数は12例です。

方法: GAPPS アンケート調査票を用いて全国の大学病院およびがんセンターにアンケート調査を行います。本研究は、徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の項目および保管方法について

代表機関(徳島大学病院)の研究者が、各共同研究機関の担当者(科長)宛ての質問紙(アンケート)を作成し、各研究機関より情報を収集します。各症例の情報収集は各共同研究機関が行い、アンケートの送付、回収などはデータセンター(有限会社メディカル・リサーチ・サポート)に委託します。本研究に用いる診療情報は、研究上必要のない患者氏名、患者IDなどは用いず匿名化します。匿名化にあたっては対応表を作成しますが、対応表は研究責任者の高山哲治が適切に管理します。

3. 本院以外の研究機関等への試料・情報の提供

情報は4. 研究の実施体制に記載のある共同研究機関及び当院で取り扱います。利用及び提供開始日は委員会承認日から1か月後になります。当院において匿名化されたデータをデータセンターに提供します。医療情報を2次利用として外部の機関に提供することはありません。

4. 研究の実施体制

【研究代表機関】 徳島大学病院 消化器内科

研究代表者：高山哲治

徳島大学病院における研究分担者：横山怜子、岡本耕一、三井康裕、吉本貴則

【共同研究機関一覧】

施設名	実施責任者
京都府立医科大学 分子標的予防医学	武藤 倫弘
石川消化器内科	石川 秀樹